

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

2021年
2月17日
第438号



JR東海労



http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

JR東海労働組合

発行人 木下 和樹
編集人 高山 浩

2021 JR 総連春闘勝利に向け職場から闘う！



第34回定期中央委員会開催

JR東海労は2月11日、必要最低限の参加者に絞るなどのコロナ感染対策を実施した上で第34回定期中央委員会を開催しました。議長に笹田中央委員を選出しました。2021 JR 総連春闘の闘いの中心として、定期昇給6,000円(基準昇給額1,500円×4乗数)及びベア6,000円、夏季手当3.5ヶ月を満場一致で決定しました。

ユニオンの春闘破壊を許さず闘おう！

木下中央執行委員長挨拶



今中央委員会の課題は、賃金引上げを中心とした春の闘いについて意思統一することです。JR東海の第3四半期連結決算は、営業収益6,

030億円で前年同期比58.4%減、営業損益は△935億円、経常損益は△1,477億円、純損益が△1,114億円で、第2四半期決算より損益は若干改善されていますが、会社は業務執行体制全般にわたる効率化・低コスト化を一層強化するとしています。東海道新幹線の1月28日までの輸送量の累計は前年比31%、在来線特急の輸送量も同じく31%にまで落ち込んでいます。経団連は、今春闘の指針となる「経労委報告」で「コロナ禍で業績が悪化した企業はベアは困難、定昇も含め検討、好業績企業でもベアは選択肢だ」としています。連合は「ベア2%を含め4%程度を要求」を決定しています。しかし、ベアを要求しない、あるいは昨年より相当低い要求とする産別、単組が相次いでいます。JR連合も、ベア要求を1,000円としました。JR西

労組はベア要求を掲げていません。JR東海ユニオンはベア1,000円、夏季手当は何と2.5ヶ月要求です。昨年の年末手当でJR東海ユニオンは、安定的支給ベースの問題にしていたはずなのに、会社が言う「夏季手当の安定的支給ベース2.7ヶ月」を下回る要求です。そして、一時帰休実施について、ありもしない雇用不安を煽り、春闘破壊に蠢いています。会社は、一時帰休の目的を「一時的に業務量が減少するから」としています。ですからJR東海ユニオンが言っているような「雇用不安」になることはあり得ません。あるとしたら、リニア建設で破綻に追い込まれたときです。しかし、私たちは「リニア建設反対」と一貫して主張してきました。コロナ禍と言いつつ、企業経営に必要な投資はしています。ただ、コロナ禍に乗じて、会社が一時帰休から更に踏み込んで、総人件費抑制に動くであろうことを踏まえなければなりません。多く

の労組が、企業の経営状況を付度しています。働く側が黙っていたら賃金は上がりません。JR総連は、第43回定期中央委員会において、今春闘を「ベア6,000円の統一要求」を掲げ、統一闘争で闘うことを決定しました。発言を紹介いたします。「コロナ禍の中においても年末手当で適正な評価を求めた。コロナ禍に臆することなく、積極的に春闘に臨む」、「在宅勤務での私物パソコン、電気代を要求する」、「厳しいときに要求しない労組は労組ではない。組合員の健康と生活のために闘う」などです。この間、JR総連が、統一要求、統一闘争として春闘をつくり出しているからこそその発言です。JR東海労は、JR総連の仲間と共に「ベア6,000円要求」を掲げ、闘いを通じて賃上げと、生活の質の向上、労働者の社会的地位向上、そして組織強化・拡大を目指し闘いたいと思います。コロナ特措法の改正法案が国会で可決、成立しました。時短要請に応じない飲食店、コロナウィル感染者が入院に感じない、行動について報告しない場合に行政罰を科すことが可能になりました。時短要請協力金6万円ではとても足らずに廃業せざるを得ないお店があります。人間は飯を食

わねば生きていけない。生きていく糧を得なければなりません。国は、矛盾のある制度を様々な理由をつけ正当化し、守らない奴は非国民として罰しようとしています。「貴方の生活がどうなる」と、経済再生のためには、国の言うことは黙って聞け」ということです。このことは、コロナ特措法改正を皮切りに様々な場面で、国の言うことを聞かない国民、国を守らない国民には罰を与え、処分をちらつかせると、自衛警察やマスク警察なども使いながら、国民を権力者の言いなりにしていくことが狙われています。そしてそれは、憲法の改悪に繋がってきます。平和・人権・民主主義を守るために行動していきましよう。平和の課題や安全に関する課題、リニア建設などについても触れたいところではあります。スヶジュールの関係もあり、方針書で提起しておりますので、発言で補強して頂くことをお願いします。最後に、今年8月11日、JR東海労は結成30年を迎えます。第37回大会は「結成30年記念大会」と位置づけて開催したいと思います。記念大会成功に向けて全組合員で奮闘していくことをお願いします。共にがんばりましよう。

春闘を職場から闘う決意の意見相次ぐ

7名の中央委員から積極的な発言

◆休養室のシート交換は、社員が行うことになった。「健康上の問題」「睡眠時間が減る」「社員の負担増」などの意見が相次いだ。関連会社が行うように会社に申し入れたが、要求を無視する回答。声を上げていく。

◆ボーナスカット裁判で最高裁は不受理、不当判決が確定した。しかし、注意指導、パワハラがなくなるなどの成果を勝ち取った。

◆コロナ感染防止対策の申し入れで、運転台の消毒など、後々ではあるが実現化してきている。しかし、会社は社員の健康など考えていない。この現実を他労組組合員に広める。

◆シート交換で睡眠時間を削られた。会社は業務委員会を開催せず、窓



口回答。寝室の環境整備を要求していく。

◆CMCで、備品の盗難、いたずらが発生し、監視カメラが設置された。事業所に団体交渉開催を申し入れたが、受理されなかった。シートリネンを汚物清掃用雑巾などと一緒に、社員が洗濯させられている。問題点を把握し申し入れを行っている。

◆改訂新人事・賃金制度の問題点について情報を連続発行した。会社は「1,000円アップ」と言ったが、賃金実態調査を行ったところ、年間10万円程度減収であった。危険と隣り合わせの乗務と日勤が同じ職務手当というのにも不公平だ。

◆コロナ・本人訴訟の弁論が始まった。この裁判で、サービックは有給休暇にも関わらず自宅待機に課題を課し、雇用調整助成金を受けていた。大阪労働局に不正受給を訴えた。職場で「有給休暇なのか休業なのか」と問うたところ、「掲示で題している通り」としか言わない。地本は団体交渉を行い、サービック労組と休業に関する労使協定を結んでいたことが判

明した。雇用調整助成金の不正受給は、黒に限りなく近いグレーである。更に闘っていく。

◆浜松運輸区で4名のコロナ感染者が出た。プレスで消毒していると発表したが、消毒は乗務員が行っている。形だけの消毒である。会社はコロナ慰労金を出すべき。

◆規程の訂正時間に40分以上かかることがあ

る。地本は、労働時間にさせるために、申し入れや苦情申告を行った。しかし、会社は要求に応えない。会社は、切り貼りの用紙を用意したり、訂正確認を訓練内で行うなど、やり方を変えてきた。更に闘いを継続する。

◆リニア建設反対の闘いとして、静岡県リニア差止訴訟の提訴、口頭弁論に参加した。被告会社は原告適格を求めてきている。静岡悪者論がつくられて中、リニア建設に反対する声を多くつくる。

◆年末手当満額獲得の闘いは、労働組合らしい闘いであった。堂々と要求できるのは私たちが闘っている。苦勞しているのは現場の社員だけで、役員報酬は高額なまま。低額回答となったがタイムリー

な闘いだった。

◆地本は結成30年記念誌発行を目指している。

◆JR西労組はベア要求なし、JR東海ユニオンも賃金抑制攻撃に加勢している。リニア建設を営に繋がる。

◆診断書強要中労委は証人審問が行われる。プロジェクトで対策会議を行い、万全な体勢で臨む。また水野さんは、裁判で堂々と証言した。

◆昨年、若いJR東海ユニオン組合員がJR東海への加入を決意して

くれた。ところが、現場管理者を含む30名以上の



春の闘いを通じて組織拡大を勝ち取ろう！

本橋書記長総括答弁

JR東海ユニオン役員が地本事務所を取り囲み、連行された彼は涙を流しながら頭を下げた。知らんぷりをしていた現場管理者らは、急に態度を変え、あたかも彼のことを心配しているかのよう

に接触し、最後は彼に圧力をかけたようだ。

◆本部は、コロナ慰労金と無利子貸付を申し入れた。住宅や車のローンだけでなく、家族の介護や養育費など、様々な負担を抱えて期末手当を生活設計に見込んでいる社員がいる。申し入れは、不安感の手助けとなるべ

ストな内容であった。

◆雇用調整助成金でJR東海ユニオンは、会社でさえ口にしていない雇用不安の宣伝、扇動を繰り返している。JR東海ユニオンや会社の掲示は、本部が確認した内容と明らかに矛盾する内容がある。9時以降は呼び出しはない等を敢えて文章にし、職場では既に休業日を勤務に変更された社員がいる。明らかに就業規則を無視している。

◆今春闘では、会社の立場ではなく、労働者の立場に立った要求を堂々と掲げ、満額回答を目指して闘う。

◆雇用調整助成金でJR東海ユニオンは、会社でさえ口にしていない雇用不安の宣伝、扇動を繰り返している。JR東海ユニオンや会社の掲示は、本部が確認した内容と明らかに矛盾する内容がある。9時以降は呼び出しはない等を敢えて文章にし、職場では既に休業日を勤務に変更された社員がいる。明らかに就業規則を無視している。

生活給として一定の水準が必要。「単年度で赤字といってもこれまで積み上げた体力がある」と述べています。

しかし、ベア1,000円、夏季手当2,5ヶ月の要求です。安定的支給ベースはどうなったのですか。やはり騙し文句

なのですか。鎌田委員長が言うように、会社には体力がありません。第3四半期決算では累積赤字が約20億円減少しました。

これは10ヶ月は赤字という事です。手元の資金は約7,300億円もあり、投資目的の有価証券も約8,600億円もあります。私たちは生活するための賃金を要求することまで「自粛」する必要は全くありません。

JR総連の旗の下、全国の仲間と共に奮闘しようではありませんか。結成30年記念大会に向け、更なる組織拡大を勝ち取るために奮闘しようではありませんか。

JR東海ユニオン鎌田委員長は「アクセス」620号で、「年末手当回答は『安定的支給ベース』から非常に大きく乖離したものだ。全ての組合員に納得いただけているかといえれば難しいと思う。次期夏季手当交渉では組合員の負託に応える」と述べ、組合員の不満の声を吐露しています。また、「ベースアップはしっかりと要求していくべきだ」「夏季手当も

※次号の発行は、3月10日を予定しています。



※次号の発行は、3月10日を予定しています。